

- 訂正) 競技注意事項 3 (1) 招集場所について訂正いたしました
競技注意事項 2 (3) 本競技場の開放時間について訂正いたしました
競技注意事項 1 2 (8) 競技場の開門・閉門時間について訂正いたしました
追記) 競技注意事項 5 (2) 長距離種目で使用するアスリートビブスについて追記いたしました
競技注意事項 7 (2) 棒高跳の練習について追記いたしました

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2023 年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. ウォーミングアップについて

- (1) 練習は競技場北側の直線走路および雨天走路を各自使用すること。ただし、雨天走路についてはストレッチ・ドリル程度の使用とし、スパイクを履いての走行は禁止とする。
- (2) 投てき練習、跳躍練習は競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3) 芝生を使った練習は禁止とする。
- (4) 本競技場の朝の開放時間は以下の通りとする。時間を厳守して使用すること。

10 日（木） 7：30～9：00

11 日（金） 7：00～8：45

12 日（土） 7：00～8：45

- (5) 競技中、練習場所確保のため競技場バックストレートを開放する。競技の妨げにならないよう、開放中であっても使用については審判の指示に従うこと。また、開放時間の詳細は追って連絡する。
- (6) 練習場は混み合う可能性があるので、練習の際は怪我・事故等のないように細心の注意を払うこと。主催者は一切責任を負わない。

3. 招集について

- (1) **トラック競技の招集所は、第 1 ゲート（100m スタート付近）に設け**
また、フィールド競技の招集は競技実施場所で行う。
- (2) 種目別の招集開始および招集完了時刻はプログラムの競技日程で確認すること
- (3) 競技規則第 144 条 3(b)により、スマートフォン等の機器を競技場に持ち込むことはできない。

(4) 同時進行種目への出場競技者は、あらかじめ他種目同時出場届（招集所に用意）を招集所（競技者係）に提出すること。

(5) 招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を欠場したものとする。

(6) リレー競技はオーダーの変更の有無にかかわらず、その都度リレーオーダー用紙（招集所に用意）にチームにつき1部記入して、各ラウンドの**第1組招集完了時刻の1時間前まで**に招集所に提出すること（リレーの編成メンバーについては競技規則第170条10参照）。

4. 欠場について

(1) 競技者の欠場は、原則として**8月9日(水) 12:00 まで**にEメールで受け付けた者のみとする。

(2) 当日やむを得ない理由で欠場する者は、**各ラウンドの第1組招集開始時刻まで**に欠場届（招集所に用意）を招集所に提出すること。その届け出た種目に限り欠場を認める。

(3) ラウンドや番組の変更の可能性があるため、事前に欠場が分かっている場合は必ず申し出ること。

5. アスリートビブスについて

(1) 番号は、北海道・北信越学生陸上競技連盟加盟校は当連盟が割り振った番号を**各自で用意**し使用すること。また、東北学生陸上競技連盟加盟校は2023年度当連盟が作成、配布したものを使用すること。ただし、5000m、10000m、3000mSC、10000mWについては、主催者側で用意したオーダー番号のものを使用する。跳躍種目については、胸、背の一方だけでよい。

(2) **5000m、10000m、3000mSC、10000mW で使用するアスリートビブスについては招集開始1時間前までに招集所にて各自受け取ること。**

(3) オープンレーンの競技に出場する競技者は、招集所にて配布する腰ナンバーカードをパンツの右横や後方に取り付けること。

6. 番組編成及び、走路・競技順について

(1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順による。

(2) トラック競技の準決勝・決勝の組み合わせ及びレーン順は、主催者が公平に番組編成を行い、その結果をWeb上に掲示する。

(3) 800m以下のトラック競技において、選手の棄権状況により出場選手が8名以下となった場合、予選ラウンドを実施せずに再度番組編成を行い、決勝ラウンドのみを開

| | | | | | | | | | |
|-----|---|------|------|------|------|------|------|-------------------|---------------|
| 走高跳 | 男 | 1m55 | 1m55 | 1m60 | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 以後 3cm きざみ |
| | 女 | 1m25 | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 以後 3cm きざみ |
| 棒高跳 | | 2m60 | 2m60 | 2m80 | 3m00 | 3m20 | 3m40 | 以後 10cm きざみ | |

9. 競技用器具について

- (1) 競技用器具は、競技場備え付けのものを使用し、個人の器具を持ち込んではいけません。ただし、投てき物及び棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用することができる。個人所有の投てき物については競技開始 1 時間前に大会本部（技術総務）にて検査を受け、許可されたものでなければ使用できない。
- (2) 競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンは 9mm 以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投では 12mm 以下のものを使用すること。
- (3) シューズの厚さに関しては WA の制限を超えないこと。
今大会では TR5 を適用する。特に 800m 以上の種目は全員厚さが 25mm 以下のソールのシューズを着用すること。シューズの確認は招集所で行う。

| 種目 | 靴底の最大の厚さ (TR5.5、〔注意〕 (i), (ii), (iii)、 図、TR 5.13.3) | 要件・備考 |
|---------------------------------|--|---|
| トラック種目(ハードル種目 を含み、800m未満の種目) | 20mm | リレーの場合、各走者が走る区間の距離に応じて適用する。 |
| トラック種目(障害物競走を 含み、800m以上の種目) | 25mm | リレーの場合、各走者が走る区間の距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路で行う競歩競技と同じとする。 |

10. 抗議について（競技規則第 146 条参照）

競技進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者、または代理人より結果が正式発表（アナウンス）されてから 30 分以内（次のラウンドがある場合は 15 分以内）に、担当総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定に不服の場合は、上訴申立書と預託金 1 万円を添えてジュリー（上訴審判員）に上告することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

11. 表彰及び対校得点について

- (1) 各種目優勝者には優勝メダルを、8 位までの入賞者には賞状を授与する。表彰式は 3 位まで行い、4 位から 8 位までは受付で賞状を渡す。競技終了後大学毎に受け取りに来ること。
- (2) 表彰の際は、大学指定のジャージまたは T シャツを着用し、商標名の入った服装は避けること。

- (3) 成績の優れた男女各1名を最優秀選手として選出する。最優秀選手賞は、今大会中における成績を参考として、大会会長・大会委員長・大会副委員長の3者により決定する。
- (4) 対校得点は、1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点とする。
- (5) 男女総合優勝校には、それぞれ日本学生陸上競技連合会長杯を授与する。
男子トラック優勝校には、東北学生陸上競技連盟会長杯を授与する。
女子トラック優勝校には、北信越学生陸上競技連盟会長杯を授与する。
男子フィールド優勝校には、北海道学生陸上競技連盟会長杯を授与する。
女子フィールド優勝校には、北海道・東北・北信越学生陸上競技連盟杯を授与する。
- (6) 順位決定について、得点が同等の場合は上位入賞種目の多い方を上位とする（1位種目の多い学校、1位種目数が同数であれば、2位入賞種目数の多い方を上位とする。以下、同様）。これで決定しない場合は4×400mRの順位で決定する。

12. その他

<コロナ感染症対策>

- ①各団体、選手およびチーム関係者は所属大学の感染対策事項に準じて大会に参加すること。
 - ②当日体調不良等があるものは大会への参加を控えること。
- (1) 待機場所の割り振りを行った大学に関しては、指定した場所にテントやブルーシートを広げることを許可する。その他の大学については、各所属の共用荷物の保管場所は、必要最小限に留め、個人的に場所を確保すること。雨天走路、更衣室を待機場所としての使用は禁止とする。また、その他、待機場所を制限することがあるので係の指示に従うこと。
 - (2) 競技者の付き添いは一切認めない。従って競技者以外は、トラックならびフィールド内に立ち入ることはできない。
 - (3) ユニフォームは各大学で審判員が同一チームと判断できるものを着用すること。
 - (4) 開・閉会式共に、部旗のある大学は持参し、参加すること。開会式は部旗を持つ代表者1名、閉会式は全員参加とする。
 - (5) 大会1日目、2日目終了後、シートやテントを競技場コンコースに置いていくことを認めるが、スタンドに置いていくことは認めない。また、紛失、破損について主催者は責任を一切負わない（各大学で風雨対策を行うこと）。
 - (6) ゴミは各自持ち帰ること。
 - (7) 前日練習は8月9日(水) 14:00~17:00に本競技場を開放する。
 - (8) 開門・閉門時間は以下の通りとする。

| | (開門時間) | (閉門時間) |
|-------------------|--------|--------|
| 第1日目……………8月10日(木) | 7:30 | 17:40 |
| 第2日目……………8月11日(金) | 7:00 | 17:40 |
| 第3日目……………8月12日(土) | 7:00 | 16:00 |

※進行状況により前後する可能性がある

(9) 主催者は競技中の発病・負傷に対しては応急処置以外の責任を負わない。ただし、2023年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。

(10) 競技場及び周辺施設の器具などを破損した場合は、その大学から弁償代を徴収する。